

学校教育自己診断の結果と考察

1：児童生徒

NO	設 問	令和4年度の 肯定的回答率	令和3年度 との比較	令和3年度	令和2年度
1	学校は楽しい。	89.1	↓7.2	96.3	91.3
2	授業は、教材（プリントや資料など）や教え方など工夫され、わかりやすく楽しい。	94.5	↑1.9	92.6	89.1
3	先生はわたしたちのことを大切にしている。	92.7	↓3.6	96.3	95.7
4	自分の将来や進路について、考える機会がある。	64.7	↑8.3	56.4	62.2
5	先生は、いじめについてわたしが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	86.7	↑10.2	76.5	82.2
6	気軽に相談できる先生がいる。	84.9	↑1.3	83.6	80.4
7	自分やほかの人の大切さや社会のルールについて学習する機会がある。	90.4	↑1.9	88.5	77.8
8	先生はわたしたちの心や身体のことをわかってくれている。	92.5	↓5.6	98.1	93.5
9	先生は、周りの人とのつながりに気を配ってくれている。	88.0	↓8.3	96.3	93.5
10	行事は、楽しく参加できるように工夫されている。 (本校、精神、阪大のみ回答)	82.6	↓3.6	86.2	75.0

【考察】

全体としては、例年同様、高い肯定的回答をいただいている。項目2の「授業は教材や教え方など工夫され、わかりやすく楽しい」は94.5と全項目の中でも最高の値をマークしており、前年度・前々年度より向上している。しかし、項目1「学校は楽しい」は89.1と前年度より7.2低下している。他に低下している項目を見ると項目3「先生はわたしたちのことを大切にしている」・項目8「先生はわたしたちの心や身体のことをわかってくれている」・項目9「先生は、周りの人とのつながりに気を配ってくれている」・項目10「行事は、楽しく参加できるように工夫されている」があげられる。このことより、学校の評価は授業の内容だけではないことが読み取れる。児童生徒の姿勢の変化や表情等に細かく目を配り、声掛け等を適切に行い、児童生徒に負担の無いよう授業を進められることが病弱の支援学校として求められる事であるのでこの項目の向上に努めたい。また、ベッドサイドでのマンツーマン授業など集団の中で活動する機会が減少しているため、児童生徒が交流できる授業形態・行事を多く取り入れていく必要性を感じている。項目4「自分の将来や進路について、考える機会がある」の64.7は例年より向上しているものの、短期で入院・退院する児童生徒も多く、他の項目と同じような数値は望めないと考えている。項目6「気軽に相談できる先生がいる」は84.9と向上しているものの、全体の中では低めの数値となっている。放課後や昼休みといった授業以外の時間が取れない現状では、いたしかたないものと受け止めているが、相談があれば快く応じる体制をとっていきたい。

2：保護者

NO	設 問	令和4年度の 肯定的回答率	令和3年度 との比較	令和3年度	令和2年度
1	子どもは、学校を楽しみにしている。	97.1	↑0.5	96.6	91.7
2	授業内容は、子どもに合うように工夫されている。	100	0	100	100
3	学校の教育方針に共感できる。	100	0	100	95.7
4	学校は、子どもの将来や進路などについて適切な指導を行っている。	86.2	↑8.8	77.4	78.3
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	95.5	↑22.4	73.1	81.8
6	学校は、人を大切にできる心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	100	↑10.0	90.0	86.4
7	学校は、ホームページ等で教育情報の提供について努力している。	100	↑13.8	86.2	82.6
8	教育相談や懇談のときなど、子どもの学習目標の設定に親も関わる機会が設けられている。	96.9	↑10.7	86.2	77.3
9	懇談や学校行事等に参加したことがある。	52.2	↓24.7	76.9	54.5
10	学校は、子どもの身体や心の状態を理解している。	100	↑6.5	93.5	95.8
11	学校は、前籍校や病院と連携して指導にあたっている。	100	↑3.1	96.9	100
12	学校は、日常の教育活動において、子どもの人権を尊重している。	100	↑6.2	93.8	100
13	学校は、地震や台風警報等への対応を保護者に伝えている。	88.0	↑29.4	58.6	61.9
14	学校は、子どものことについて、保護者の悩みや相談に応じてくれる。	100	↑6.5	93.5	91.7
15	行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている。 (阪大のみ)	100	↑14.3	85.7	69.2

※精神分教室では、保護者に配布していない。

【考察】

全体としては、項目9「懇談や学校行事等に参加したことがある」の52.2を除き非常に高い肯定的回答をいただいている。項目9についてはコロナ禍のため、保護者の病棟への面会制限、行事の制限ため懇談や行事が大幅に減少したことが大きな原因であろうと考えている。しかしながら、項目14「学校は、子どものことについて、保護者の悩みや相談に応じてくれる」は100と非常に高い数値となっている。これは、懇談など直接会う機会がなくとも、電話等で教員が保護者の相談に親身に対応した成果であると読み取っている。今後も自分の子供が入院するという不安な状態の保護者へのサポートを続けていき、保護者のニーズに応じていく体制を整えたい。

3：病院関係者

NO	設 問	令和4年度の 肯定的回答率	令和3年度 との比較	令和3年度	令和2年度
1	子どもは、学校（病棟）で学習することを楽しみにしている。	86.0	↑0.5	85.5	85.0
2	学校は、子どもの身体や心の状態を理解し、適切な指導を行っている。	92.6	↑6.7	85.9	86.7
3	学校は、子どもの治療や入院生活に良い影響がある。	97.9	↑5.2	92.7	94.7
4	学校では、子どもの個人情報を守られている。	98.3	↑7.5	90.8	85.0
5	学校は、病棟と連携して教育活動を行っている。	86.8	↑1.6	85.2	84.1
6	病院と学校の定期連絡会は役に立っている。	81.7	↑8.7	73.0	68.1
7	学校は、病弱教育の専門性向上のために努力している。	89.3	↑5.6	83.7	80.5
8	問題が起こった際、学校は迅速に対応することができる。	92.8	↑8.1	84.7	78.8
9	学校の行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている。	98.4	↑7.4	91.0	97.4

【考察】

全ての項目において前年度・前々年度を上回っている。その中でも項目9「学校の行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている」が98.4と前年度より7.4向上するという高い数値であった事に注目したい。コロナ禍ため行事が制限される中で、児童生徒の項目10「行事は、楽しく参加できるよう工夫されている」は82.6と前年度より3.6低下していた。本校は入院・退院という比較的短い期間しか在籍しない児童生徒が多く、同じ児童生徒が前年度行事と今年度行事を比較しているわけではない。そのため、長い期間にわたり本校の取組みを見てこられた病院関係者の方々が、コロナ禍の制限が厳しい中実施した学校行事に高い評価をいただいた事を励みにしていきたい。項目6「病院と学校の定期連絡会は役に立っている」は81.7と全体で最も低い数値となっているが前年度比では、8.7と向上している。本校では病院との定期連絡会は多くの情報や意見を交換する貴重な機会である。連絡会に携わっている関係者はその重要性を認識しているが、携わっていない方にとってはあまり認識されていないのではないかと考えている。年々この数値が向上するよう病院側にも定期連絡会の存在をアピールしていきたい。

今後も長期に渡り本校の取組みを見てこられた病院関係者の方々評価は重要な評価であると考えている。引き続き連携を密に取りながら、児童生徒の支援にあたっていきたい。

4：教 職 員

NO	設 問	令和4年度の 肯定的回答率	令3年度 との比較	令和3年度	令和2年度
1	職員会議や各分掌等、学校組織は有効的に機能している。	82.5	↑ 8.6	73.9	68.5
2	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	88.7	↓ 4.8	93.5	81.4
3	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	63.3	↓ 6.3	69.6	64.8
4	年度末反省等、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	68.3	↓ 10	78.3	64.8
5	公開授業や研究授業等、授業力向上に向けた取り組みが推進されている。	66.7	↑ 14.5	52.2	51.8
6	児童生徒の実態をふまえ、学習内容・方法の工夫・改善を行っている。	93.5	↓ 6.5	100	90.7
7	児童生徒の指導について、関係教員間でよく話し合っている。	91.9	↓ 3.8	95.7	88.9
8	児童生徒の指導において、家庭との連携ができています。	85.5	↑ 7.2	78.3	92.6
9	児童生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	78.9	↓ 3.7	82.6	79.6
10	いじめ（疑いを含む）が起こった際体制が整っており、迅速に対応することができている。	94.0	↑ 13.6	80.4	79.6
11	相談体制が整備されており、児童生徒は気軽に教職員に相談等することができる。	87.5	↓ 1.6	89.1	81.4
12	児童生徒が楽しく行事に参加できるよう、工夫・改善を行っている。	98.3	↑ 9.2	89.1	85.1
13	児童生徒会の活動が自主的にできるように、支援を行っている。	79.2	↑ 20.5	58.7	64.8
14	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、児童生徒・保護者や地域への周知に努めている。	81.5	↑ 5.4	76.1	74.1
15	体罰やセクハラの防止をはじめ、人権尊重に基づいた指導が行われている。	89.8	↓ 3.7	93.5	83.3
16	個別の教育支援計画、個別の指導計画について本人・保護者のニーズを踏まえ作成している。	91.5	↑ 0.2	91.3	98.2
17	医療機関や前籍校との連携が活発に行われている。	98.3	↑ 9.2	89.1	90.7
18	個人情報保護の観点から児童生徒の個人情報に関する管理システムが整っている。	94.9	↓ 0.8	95.7	92.6
19	校内研修は、幅広い教育実践に役立つような内容となっている。	86.2	↑ 16.6	69.6	66.7
20	コンピュータ等の情報機器が、授業などで活用されている。	98.3	↑ 2.6	95.7	83.3
21	教育活動における悩みについて、気軽に相談しあえる職場の人間関係ができています。	81.4	↓ 7.7	89.1	85.2
22	刀根山支援学校では、服務規律への自覚が高い。	73.7	↓ 4.6	78.3	70.4
23	施設設備について日常的に点検し、自己・災害等時に迅速に対処できるよう、役割分担が明確化されている。	71.9	↓ 17.2	89.1	77.8
24	刀根山支援学校には、他の部・分教室と積極的に協力しようという雰囲気がある。	75.9	↓ 0.2	76.1	68.5
25	地域支援は十分に行われている。	67.3	↑ 4.3	63.0	64.8
26	防災教育・安全指導は十分行われている。	78.0	↓ 9.0	87.0	85.2

【考察】

全体的には、前年度・前々年度より向上している。大きく向上した項目13「児童生徒会の活動が自主的にできるように、支援を行っている」で79.2と前年度58.7から20.5向上している。これは本校の高校生を会長として他の分教室の中学生を副会長として、全部署で参加できる形態がとられたことにより、本校の体育祭・文化祭にZOOMで参加できたことが大きいと思われる。今後も各分教室が連携して行事参加ができる体制を構築していきたい。また、項目5「公開授業や研究授業等、授業力向上に向けた取り組みが推進されている」が前年度より14.5、項目19「校内研修は、幅広い教育実践に役立つような内容となっている」が

前年度より 16.6 向上している。学校経営計画に掲げている「専門性の向上」をめざし、研修等が行われた結果と捉えている。反対に大きく低下している項目 23「施設設備について日常的に点検し、自己・災害等時に迅速に対処できるよう、役割分担が明確化されている」については、病棟内に教室があるため病院側の指示に従う必要があり、本校のみで役割分担ができないことが影響している。異動で新しく本校へ勤務した教員は前任校と比べこのような評価になるのは致し方にものと捉えている。全体の中で最も低い数値の項目 3「学校運営に、教職員の意見が反映されている」の 63.3 は前年・前々年と比べても低下している。教員の意見が反映されていると感じられる学校運営をめざす。